

# 徳島県の地場企業の皆さまへ

個人情報や重要な技術情報等を狙う  
サイバー攻撃は、年々増加しています

標的型メール攻撃の件数の推移

(件) **4年間で約4倍に増加**



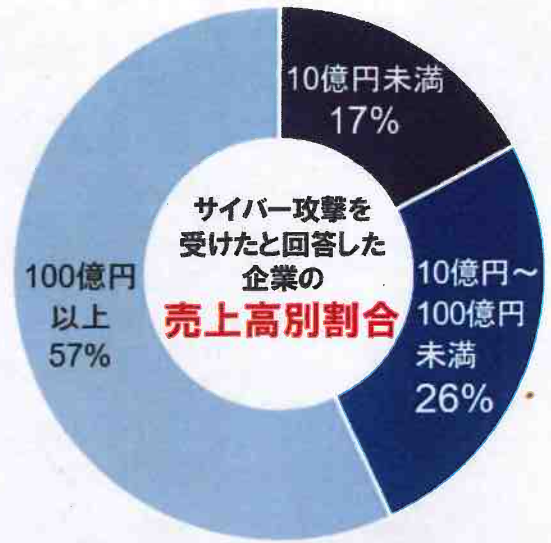
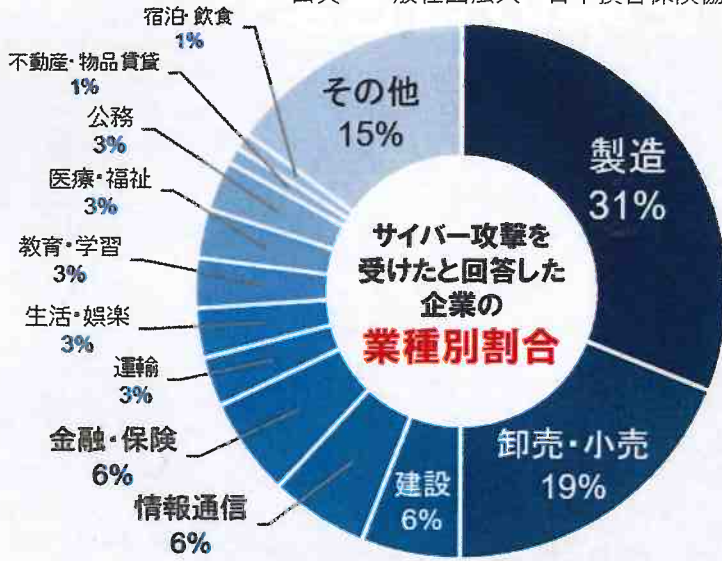
出典：平成30年におけるサイバー空間をめぐる脅威の情勢等について 2019年3月7日（警察庁）

サイバー攻撃に備えることは  
すべての企業にとって急務です。

# サイバー攻撃のリスクは全ての企業に広がっています。

## サイバー攻撃の実態

出典：一般社団法人 日本損害保険協会「サイバー保険に関する調査2018」



**公的機関だけではなくあらゆる業種の企業が攻撃対象になっています。**

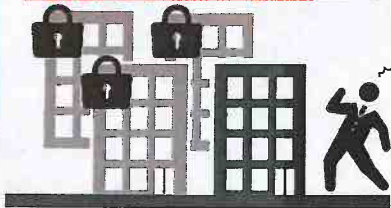
公務や金融業・保険業だけではなく、製造・非製造を問わず幅広い業種が攻撃対象になっています。

**大企業だけでなく中小企業もサイバー攻撃の脅威にさらされています。**

企業規模の大小にかかわらず、攻撃ターゲットの対象が広がっています。

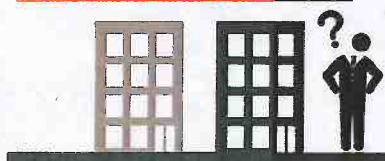
## 大企業に比べ、中小企業ではサイバー攻撃に対する対応が遅れています。

サイバー攻撃への対策をしていない企業



約4社に1社

サイバー攻撃の対象となる可能性があるとして認識していない企業



約2社に1社\*

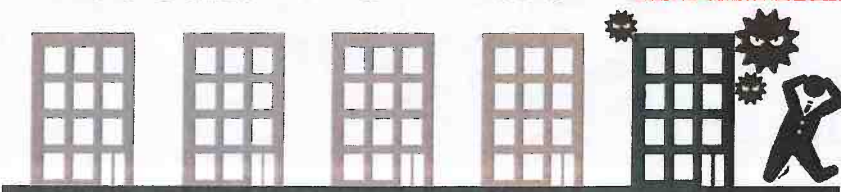
サイバー攻撃による被害をイメージできていない企業



約3社に1社

\*可能性が高い「やや高い」、どちらともいえない「やや低い」、低い「わからない」。

では、実際にサイバー攻撃の被害を受けたことがある企業は？



約5社に1社

出典：一般社団法人 日本損害保険協会「中小企業の経営者のサイバーリスク意識調査2019」  
(数値は、同意識調査に回答した中小企業の経営者825人の回答によるもの)

# 情報セキュリティ5か条

情ったばし!! 全員参加で 組織を守る

メールに 注意!!



情報窃取に 注意!!



## 1 OSやソフトウェアは常に最新の状態に

OSやソフトウェアを古いまま放置していると、セキュリティ上の問題点が解決されず、それを悪用したウイルスに感染してしまう危険性があります。お使いのOSやソフトウェアには、修正プログラムを適用する、もしくは最新版を利用するようにしましょう。

## 2 ウィルス対策ソフトを導入

ID・パスワードを盗んだり、遠隔操作を行ったり、ファイルを勝手に暗号化するウイルスが増えています。ウィルス対策ソフトを導入しウイルス定義ファイル(パターンファイル)は常に最新の状態になるようにしましょう。

## 3 パスワードを強化

パスワードが推測や解析されたり、ウェブサービスから流出したID・パスワードが悪用されたりすることで、不正にログインされる被害が増えています。パスワードは「長く」、「複雑に」、「使いまわさない」ようにして強化しましょう。

## 4 共有設定の見直し

データ保管などのウェブサービスやネットワーク接続した複合機の設定を間違ったために、無関係な人に情報を覗き見られるトラブルが増えています。無関係な人が、ウェブサービスや機器を使うことができるような設定になっていないことを確認しましょう。

## 5 脅威や攻撃の手口を知る

取引先や関係者と偽ってウイルス付のメールを送ってきたり、正規のウェブサイト に似せた偽サイトを立ち上げてID・パスワードを盗もうとする巧妙な手口が増えています。脅威や攻撃の手口を知って対策をとりましょう。

出典:IPA「情報セキュリティ5か条」  
<https://www.ipa.go.jp/files/000055516.pdf>

# 徳島県警察 サイバー犯罪対策室

<https://www.police.pref.tokushima.jp/>

# サイバー攻撃に遭うと生じる不利益は多方面に広がります。

## 金銭の損失



- 取引先・顧客からの**損害賠償**
- 原因の調査、関係者対応などにかかる、さまざまな**事故対応費用**

## 事業継続の障害



- 業務関連システムやメールの停止による**納期遅れ・営業機会損失**
- 社内のモラル・士気低下が遠因となる**人材流出・従業員からの訴訟**

## 顧客の喪失



- 社会的評価の低下による競合商品・サービスへの**顧客の流出**
- 大手得意先からの**受注停止**

※独立行政法人情報処理推進機構『中小企業の情報セキュリティ対策ガイドライン』第3版を参考に、一般社団法人日本損害保険協会が整理

## どのようにサイバー攻撃に備えればよいのか…



セキュリティ対策自己宣言  
普及賛同企業

三井住友海上は、独立行政法人情報処理推進機構(IPA)が展開する中小企業向けのサイバーセキュリティ推進施策「SECURITY ACTION」※の普及賛同企業として、皆さまのサイバーセキュリティ対策の取組を支援しています。

※中小企業自らが情報セキュリティ対策に取り組むことを自己宣言する制度

## サイバー攻撃に備える支援メニュー例



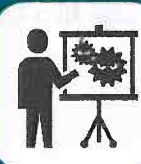
### 標的型メール訓練サービス【無料】

標的型メールを模した訓練メールを送信し、メール本文に記載されているURLのクリック状況を監視、簡易レポート(クリック者数割合や今後のアドバイス等の簡易的な内容)を作成・提出します。



### 情報セキュリティ診断サービス【無料】

情報セキュリティに関する対策の実施状況を、チェックリストを用いて『組織・人・物理・技術』の4つの対策分野にわたる設問にご回答いただいた後、訪問によるヒアリングを実施、その診断結果を報告書にまとめてご提供します。



### 「SECURITY ACTION」宣言の支援コンサルティング【有料】

「SECURITY ACTION」は中小企業自らが、情報セキュリティ対策に取り組むことを自己宣言する制度です。「SECURITY ACTION二つ星」の宣言に必要な「情報セキュリティ基本方針・規程等の策定」等の支援を行います。

※これらの支援メニューは、三井住友海上からの委託に基づき、MS & ADインターリスク総研株式会社 (MS & ADインシュアランスグループでリスクマネジメント事業を担っているリスクコンサルティング会社) が提供します。

三井住友海上火災保険株式会社

MS&AD INSURANCE GROUP

<お問い合わせ先>

徳島支店 徳島第二支社

住所: 徳島県徳島市中洲町2-6

連絡先: 088-622-1512

担当者: 荒牧